

編集後記

日建連が昨年3月に策定した「再生と進化に向けて——建設業の長期ビジョン」では、「担い手の確保・育成」と「生産性の向上」が2大テーマになっています。建設業の生産性向上を図るため、「生産性向上推進本部」が設置されたのを機に、今月号では、関係者にご出席賜り座談会を開催しました。90年代初頭、建設業の労働生産性は製造業を上回っていましたが、逆転されていまや大きく水をあけられている状況です。このような現状を打破し、建設業の再生を目指して、生産性向上推進本部の積極的な取組みが期待されます。(N)

ついこの間記念すべき50号を迎えたと思ったら、今号でもう60号。丸2年ACeの制作に携わりましたが、あっという間の日々でした。最初は「世紀の街」という2ページの記事から始まり、今では14ページの特集記事を担当するまでに。特集以外にも「現場発見」や「BCS 受賞賞作品探訪記」など、本当に多くの方に取材協力いただいたなと感謝の限りです。(T)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-5-1
東京建設会館
TEL 03-3553-4095
FAX 03-3551-4954
URL <http://www.nikkenren.com/>

発行者 有賀長郎

企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
広報委員会

制作 株式会社Kプロビジョン

デザイン 株式会社コンセント

印刷 株式会社耕文社

©2016 日本建設業連合会
「ACe建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

3月25日「建設館」 リニューアルオープン

日建連は3月25日、東京・北の丸公園の科学技術館（運営：公益財団法人日本科学技術振興財団/東京都千代田区北の丸公園2番1号/開館時間：9:30～16:50）に設けている常設展示場「建設館」をリニューアルオープンしました。

「建設館」の常設展示は、平成15年7月に全面リニューアルを行ってから軽微な維持修繕しか行ってこなかったことから、損傷の激しい装置や内容の古くなった展示パネル、ソフト等が増加し、来場した子どもたちに十分満足してもらえない状況が続いていました。

そこで今回、全面的なリニューアルを行い、併せて、展示室のレイアウト等を工夫することとしました。

具体的には、「デジタル建設工房」のソフトおよびパネルの更新、ワークショップ用「洪水シミュレーター模型」の製作、設備機器の効率的配置を行いました。

科学技術館は、昭和39年4月に科学技術の知識を広く一般の人たちに普及することを目的に設けられ、参加・体験型の館内展示を通して、楽しみながら最新の科学や産業技術に触れることのできる施設で、平日は小・中学校の校外学習や修学旅行の団体、土日・祝日は親子連れなどで賑わっています。昭和49年10月より、企業中心から業界団体中心の展示方式へと変更されたことを受けて、日建連は昭和56年から同館4階に「建設館」を出展しています。

入場料：大人720円、中・高生410円、
子ども(4歳以上)260円



ソフトの更新をしたデジタル建設工房。

◇
お知らせ